



# 佐高

スーパー グローバル ハイスクール

# SGH通信 2019

No. 14 (2019年9月5日発行)

佐高 インスパイア ファイル

## 佐野高校ラグビー部 SDGsの歩み ～世界に広げよう気候行動(climate action)の輪～

佐野高校ラグビー部は、70年代から80年代にかけて全国大会6回出場の実績と男子高校以来の伝統ある部活動である。共学後には、女子ラグビー部の活躍も目覚ましい。しかし、現在大きな変化が起きている。それは、部活動を行っていく上で「グラウンドでプレイすることだけがラグビーではない」というものである。石井勝尉監督は次のように述べています。

ラグビーというスポーツを通して、一人ひとりの部員が心身共に成長することです。近隣の公園などの美化活動や地域の子どもたちへのラグビー指導を部活動の一環として行うのも、社会貢献の大切さを体験から学び、成長してもらうためです。グラウンドでプレイすることだけがラグビーではないのです。



ラグビー部はグラウンドで戦うだけでなく、スポーツを通じた**気候行動(climate action)**を実践し、新しい形の部活動を展開している。その一部を簡潔に紹介します。

2018年12月にポーランドのカト・ヴィツェで開催された**COP24(国連気候変動枠組み条約 第24回締約国会議)**に本校ラグビー部の石井勝尉監督と渡末遊夢部長が参加して、世界のSDGsの取り組みを知った。

2019年4月4日、**Climate Actionプログラム**開始。佐野高校合宿所においてラグビー部の活動に賛同していただいた、(株)シモジマの新入社員研修にラグビー部員が参加した。新入社員とラグビー部員がグループに分かれてディスカッションし、最後はプレゼンを行った。**社会人との交流**を通し、気候行動(climate action)について学ぶことができた。



2019年4月5日、**国連広報センター**は「**開発と平和のためのスポーツの国際デー**」を記念し、「**スポーツで気候行動に取り組もう!**」と題した Facebook ライブを**国連大学**にて開催した。そこに本校ラグビー部のメンバーが参加し、男子部長の渡来遊夢と女子部長の大川菜月が堂々とプレゼンを行った。その様子と動画が現在公開中である。[https://miraimedia.asahi.com/sdgs\\_sports\\_un/](https://miraimedia.asahi.com/sdgs_sports_un/)



朝日新聞



2019年5月20日、**気候変動に関する特別授業**を実施した。講師はフィジー農業省テキニ氏と農林水産省長野暁子氏に務めていただいた。まず、長野さんからは**地球温暖化と農業の関係**について、そして、テキニさんからは**気候変動によるフィジーの農業の現状**についての話をいただいた。



2019年7月27日、「**スポーツ×SDGs特別講義**」開催。宮井株式会社の久保村様から、日本の伝統である「**風呂敷文化**」についての講話及びワークショップ、株式会社TBM山口様から、**紙やプラスチックに変わる新素材「LIMEX」**について、そのミッションである「**石油に頼らない未来**」についての講話を聞いた。

